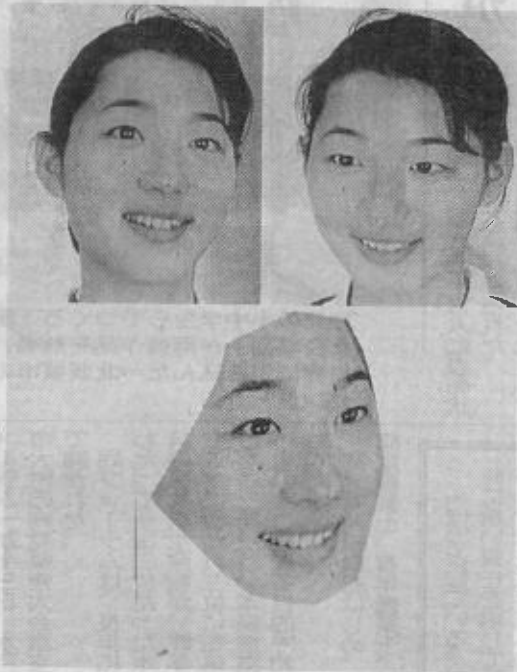


茨城新聞

発行所
茨城新聞社
水戸市北見町2番15号 千310
電話(029)221-3121代
©茨城新聞社1996

好みの向きの 顔を合成

写真2枚でOK 筑波大で 開発



2枚の写真(上段)から好きな角度からの顔(下)が合成できる。ほくろのような点は計測点(大田友一筑波大教授提供)

異なる方向から撮影した顔写真が二枚あれば、横顔

1シーンにも応用できるという。情報は高精度に推定できる数学的手法を応用。写真

真一枚ずつ。撮影の角度などに条件はなく、例えば右上と正面の写真から、下方向から見た顔なども合成できる。

や下からのぞき込んだ顔など、さまざまな向き顔を簡単に合成できるシステムを、筑波大電子・情報工学

成果は十七日、奈良市で開かれる画像の認識・理解シンポジウムで発表する。数枚の顔写真から、写っていない向きの顔を合成する十八個の三角形に分解した。

さらに、無表情な顔写真(二枚)と笑顔や怒った写真(二枚)を組み合わせれば、いろいろな角度のほほ笑んだり、ムツとした表情も復元できるという。

系の大田友一教授と大学院生の向川康博さんが開発した。

手法はこれまでも提案されていたが、作ることで合成したい顔の向きを入力すれば、それに応じて頂点の位置が動き、三角形が伸縮し顔が変化する。

大田教授は「立体モデルを用いる合成ではないため、処理データが少なく、パソコンでもこなせるだろう。しわの微妙な変化なども

表情をほぼ忠実に再現できるのが特徴で、コンピュータグラフィックス(CG)作製の手間が大幅に省けるほか犯罪捜査のモンタ

これに対し、大田教授らは一つの平面データから立

表情を左右から撮影した写真性が高いと話している。